

令和3(2021)年度活動報告(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けた取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会(敬称略)への参加(会員登録済み)

会長 中野 一英(株)NDKCOM 代表取締役)、副会長 大神 吉史(大新技研(株) 代表取締役)

ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された(2018年(H30)-5-9)

(1)目的

県内のロボット、IoT、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

(2)事業

協議会では、前項の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

- ・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
- ・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
- ・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
- ・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

(3)会員

NISA 会員および、長崎県内製造業企業などが会員登録。会員登録数 198社(2022-5-24 時点)

(4)主な活動項目(詳細は NISA-HP 「お知らせ欄」に掲載)

県・クラスター協議会からの情報をNISAホームページに掲載し、会員メールでもお知らせした

- ・令和3年度 先端技術導入促進事業・実証結果報告会
- ・技術を活用し課題解決を目指す企業の募集

I・2 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部) 活動への参加(会員登録済み)

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウイルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体で効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

(1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

(2)連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- ①サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- ②サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- ③サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- ④サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- ⑤県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」のHP掲載と周知
- ⑥その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

(3)協定参加機関

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株)、長崎支店、(株)ラック、トレンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会

(4)活動

県警本部発行「サイバーセキュリティ通信」を HP 掲載するとともにメールによる周知化を図った。

I・3 長崎県サイバーセキュリティ研究会 (H29 年 1 月 7 日設立)への参加 (会員登録済み)

(1)目的

長崎県内における情報関連産業の人材育成や会員相互の情報共有を目的とする。

(2)事業の内容

前記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①情報共有のための研究会の開催
- ② 情報セキュリティに関するセミナー・イベントの開催
- ③ 県内でのセキュリティコンテスト等の開催
- ④ 県外でのセキュリティコンテスト等へ出場する学生等の支援
- ⑤ その他、本会の目的の達成に必要な事業

(3)協定参加機関

長崎県情報政策課、長崎県学事振興課、(株)亀山電機、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、(株)ユースフル、十八ソフトウェア(株)(途中退会)、ネット・ウオーリアーズ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、(一社)長崎県情報産業協会、元衆議院議員 富岡 勉

(4)活動 (NISA参加)

開催日	場所	件名	議題
令和3年 10月5日(火)	長崎県立大学 (書面決議)	令和3年度第一回長崎県サイバーセキュリティ研究会総会	①令和2年度事業報告及び収支決算について ②令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ③会長の交代について
令和3年 11月20日(土)	長崎県立大学 西棟講義室	令和3年度長崎県サイバーセキュリティ研究会講演会	<講師:> 内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 内閣参事官:佐伯 宜昭氏 <テーマおよび概要> *“DX with Cybersecurity”の推進について*

I・4 NISA 情報セキュリティ部会

県 & NISA 共催で中小企業のためのサイバーセキュリティセミナーを開催した。

開催日	場所	件名	議題・講師
令和3年 7月26日(月)	オンライン	①「最近のサイバーセキュリティ政策」 ②「サイバーセキュリティ・リスクへの対処について」 ③「国の経済安全保障/機微技術管理について」	①経済産業省商務情報政策局 サイバーセキュリティ課企画官:佐藤 秀紀氏 ②東京海上日動損害保険会社 企業商品業務部九州グループ:前田 遥氏 ③長崎県企画部/産業労働部 政策監:三上 建治氏

I・5 IPA 第17回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2021年度17回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。昨年同様に後援し、優秀賞(NISA 会長賞)を選定し表彰状を贈呈した。

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA 会長賞)】

- ・標語部門「その言葉 自らの心を見直して」鴨田 和泰さん(長崎精道小学校 5 年)
- ・ポスター部門
 - ①「手に取るべきものはあなたをずっと待っている」阿部 史奈さん (長崎県立佐世保北高等学校 2 年)
 - ②「気をつけて! 情報操作 社会の罠」亀先 凪さん (長崎県立佐世保北高等学校 2 年)

I・6 令和 3 年度中小企業サイバーセキュリティ促進事業(地域 SECURITY 形成促進事業)

各地域で形成を進めてきた地域 SECURITY の取組をさらに推進するため、地域間の情報共有や、共通課題の解決に向けた取組の検討・推進を行う為、SC3 地域 SECURITY 形成促進WS(ワークショップ)へ参加した。

- ・第 1 回 WS 参加 10 月 27 日(水)(長崎県出席者: 県立大 加藤教授、長崎県警本部、NISA)
10:00～ オンライン開催 NISA 出席: 事務局、キーパーソン: キヤドワークス・野口誠一氏
- ・第 2 回 WS 参加 3 月 4 日(金)(長崎県出席者: 県立大 加藤教授、長崎県警本部、NISA)
14:00～ オンライン開催 NISA 出席: 事務局、キーパーソン: 扇精光ソリューションズ・松尾隆宏氏

I・7 長崎県中小企業団体中央会関連

令和3年度中小企業景況調査報告(第 1 四半期～第 4 四半期)を代表会員 4 社により実施した。

第 1 四半期(R03 年 04～06 月期)	第 2 四半期(R03 年 07～09 月期)
第 3 四半期(R03 年 10～12 月期)	第 4 四半期(R04 年 01～03 月期)

II 交 流 事 業

II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

(1)第 42 回 全情連大会「ANIA 京都大会」

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(略称: ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催している。

2021 年度はコロナの影響で Web 形式での実施となった。2022 年度は京都大会が予定されている。

- ・(2017 年)平成 29 年度 第 39 回 長崎大会
- ・(2018 年)平成 30 年度 第 40 回 青森大会
- ・(2019 年)令和元年度 第 41 回 北海道(札幌)大会
- ・(2020 年)令和 2 年度 第 42 回 山梨大会(コロナウイルス対策の為、開催延期) → 開催中止
- ・(2021 年)令和 3 年度 第 42 回 京都大会(オンライン講演会)
- ・(2022 年)令和 4 年度 第 43 回 京都大会(予定)

(2) ANIA 新春講演会の産学官交流会(懇親会)・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(3) ANIA 理事会

No.	日時	場所	出席	議題・その他
第 1 回	R03-4-22(木) 11:00～12:00	京都情報大学院(オンライン会議 ZOOM)	(中止)	(中止)
第 2 回 (総会、講演会)	R03-07-2(水) 15:00～17:00	同上	理事総数 10 名 監事総数 2 名 濱本会長 (ANIA 理事) 事務局長 (オブザーバ)	<総会議案> ・2020 年度事業報告、収支決算について ・2021 年度事業計画、収支予算について ・理事・監事の改選について <理事会議案> ・正副会長の互選について ・その他
第 3 回	R03-11-4(木) 11:00～12:00	同上	理事 10 名、監事 2 名 会員・事務局 11 名 濱本会長 (ANIA 理事) 事務局長 (オブザーバ)	・正会員拡大と年会費の見直しについて ・後援名義申請について(メール回覧で承認済) ・今後の事業について ・若手交流会を 12 月 1 日に計画

第4回	R04-2-14(月) 16:00~17:30	同上	理事9名、監事2名 ・会員・事務局12名 ・須藤副会長(代理) ・事務局長(オブザーバ)	・正会員拡大と年会費の見直しについて ・令和4年度事業計画及び予算について ・(一社)情報処理学会との連携について ・協力名義申請について(U22プログラミングコンテスト) ・若手交流会実施報告 ・第43回全情連大会開催日程について
-----	----------------------------	----	---	---

(4) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

No.	日時	場所	出席	議題
第1回	R03-8-20(月) 10:30~12:00	京都情報大学院(オンライン会議 ZOOM)	ANIA 各事務局長 15名+ANIA 事務局2名 (出席:NISA 事務局長)	・若手交流会の実施について ・全国大会の進捗状況報告, ANIA 表彰について ・正会員拡大と年会費の見直しについて ・各協会の近況報告 ・青森県情産協 30周年記念誌広告掲載要請
第2回	R03-10-8(月) 13:30~14:30	同上	ANIA 各事務局長 14名+ANIA 事務局2名 (出席:NISA 事務局長)	・全国大会について ・若手交流会の実施について ・各協会の近況報告
第3回	R04-3-7(月) 13:30~15:00	同上	ANIA 各事務局長 12名+ANIA 事務局2名 (出席:NISA 事務局長)	・正会員拡大と年会費の見直しについて ・政策提言について ・会員広報ページの開設について ・第43回全情連大会の実施について

II・2 長崎県工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)

県工業技術センターの研究成果の説明、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1) 日時: R03-12-23(木) 16:00~17:30

(2) 場所: 出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3) 次第(敬称略): [会場出席(C)、WEB出席(W)]

- ①挨拶 NISA 濱本会長(C)、 工業技術センター 橋本 亮一所長(C)
- ②工業技術センターの概要説明: 工業技術センター 橋本 亮一所長(C)
- ③導入設備や研究事例の紹介 : 工業技術センター 大脇 博樹 課長(C)
 - ・新規導入設備の紹介
 - ・電子情報関係の研究事例紹介
- ④意見交換会
 - ・工業技術センター6名(兵頭 竜二次長、田口 喜祥科長、下村 義昭科長、久保田 慎一主任)
 - ・長崎大学1名(産学官連携推進室 竹下 哲史准教授(C))
 - ・県産業振興財団1名(川原 芳彦(C))

II・3 通常総会・講演会・交流会

(1) 第28回通常総会 R03-6-17(木) オンライン併用による開催とし、全会員へ議案書を配布した。

①出席会員数: 正会員出席 76社、特別賛助会員出席 4社より承認(賛成)を得て決議した。

②議題

- i) 第1号議案 議事録署名人の選任の件
- ii) 第2号議案 令和2年度活動報告並びに決算・監査報告承認の件
- iii) 第3号議案 特別事業(1)新聞広告について承認の件
- iv) 第4号議案 特別事業(2)年会費免除について承認の件

③報告事項

- i) 第1号報告 事業計画及び収支予算の件
- ii) 第2号報告 公益目的支出計画実施報告に関する監査報告の件

(2)第28回通常総会 講演会 R03-6-17(木) 16:00～17:30 Hセントヒル長崎 3F「紫陽花」

- ①演題:「AI・ICTの活用で今すぐに取り組めるDX」
- ②講師:木村情報技術(株) 代表取締役 木村 隆夫氏
- ③聴講者:約123名(会場参加42名、WEB参加、約81名、非会員、オンライン参加を含む)

(3)新年度 産学官交流会・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

(4)新春講演会 R04-1-19(水) 16:00～17:30 Hセントヒル長崎 3F「紫陽花」

- ①演題 :「新規事業創出、AI・ロボティクスを活用した様々な業界のイノベーション」
- ②講師 :株式会社 ZMP 代表取締役 谷口 恒氏
- ③聴講者 :約64名(会場参加15名、WEB参加、約49名、非会員、オンライン参加を含む)

(5)新春産学官交流会・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

II・4 我が社の一押し(敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

通常総会時 R03-6-17(木)	会員	(株)出島リサーチ&コンサルツ	(独)中小企業基盤整備機構 九州本部
	テーマ	出島リサーチ&コンサルツ(DRC)のご紹介と長崎スタイルのSTEAM教育の挑戦	・D-FLAG 及び中小機構の各種支援施設紹介 ・これからのインキュベーションの切り口
	発表者	代表取締役 須齋 正幸氏	インキュベーションマネージャ 宮本 美砂氏
新春産学官 交流会時 R04-1-19(水)	会員	システムファイブ(株)	(株)アドミン
	テーマ	介護施設向けIoTシステム(すいすいケア)	SDGs x オープンイノベーションのプラットフォーム・ルートウイレッジ
	発表者	営業部 杉永 純平氏	代表取締役 山口 知宏氏

II・5 ビジネスコラボ事業

懇親会を通して会員間の交流を図り、ビジネスのコラボレーションが進むこと目的として下記の通り開催した。

- (1) R03-10-21(木) 18:00～20:00 <<旬彩 ながや>> 参加者:14名
- (2) R03-12-23(木) 18:30～20:00 <<会楽園>> 参加者:20名

III 研修事業

III・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成20年度(2008年度)に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得て人材育成の一端を担うことができた。

令和3年度は、22講座中、1講座を中止し、21講座を開催した。受講者数は、目標200名に対して、累計169名であり、1講座当たりの平均は8名であった。

本事業は、研修技術委員会各位のご尽力と会員皆様のご理解、ご協力によって運営することができた。

2021年度 NISA-IT 技術研修							
No.	実施月	開催日	研修科目名・講座名	会場	社数	人数	備考
01j	7月	7/7～7/9	実機で学ぶデータベース基礎～DBMSの機能、SQL文～	D	8	11	開催
02j	7月	7/28～7/30	ITエンジニアのためのデザイン思考ワークショップ	N	3	4	開催
03j	8月	8/4～8/6	C#によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編)～オブジェクト指向からデータベースアクセスまで～	D	4	5	開催
04j	8月	8/25～8/27	実務で活用するUNIX/Linuxの必須技術	D	5	7	開催
05a	9月	9/1～9/3	エンジニアの対人対応強化ビジネスコミュニケーション	D	7	11	開催

06j	9月	9/8～9/10	システム開発におけるレビュー・テスト技術の定石	D	5	9	開催
07a	9月	9/15～9/17	仕事の段取り力養成講座	I	4	9	開催
08j	9月	9/29～10/1	オブジェクト指向の本質に基づいたアプリケーション設計	D	7	12	開催
09j	10月	10/6～10/8	ネットワークとセキュリティの基礎	D	13	22	開催
10j	10月	10/13～ 10/15	情報セキュリティ対策実践 ～基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編～	N	4	6	開催
11j	10月	10/20～ 10/22	システム開発における品質マネジメントワークショップ ～品質管理の基礎から実践まで～	N	4	5	開催
12s	10月	10/27～ 10/29	IT技術者のためのデザイン・シンキング ～ビジネス創造に不可欠なデザイン思考～	N	0	0	中止
13j	11月	11/10～ 11/12	C#によるWebアプリケーション開発(実践編) ～Webフォーム連携技術からアーキテクチャ設計まで～	D	5	8	開催
14j	11月	11/17～ 11/19	業務分析設計概説 ～システム開発における要件定義のまとめ方～	N	4	6	開催
15s	11月	11/24～ 11/26	Pythonプログラミング入門	D	6	11	開催
16j	12月	12/1～12/3	ITプロジェクトマネジメントで使えるさまざまな技法	D	4	7	開催
17j	12月	12/8～12/10	ITビジネスにおける論理思考力の向上 ～問題発見、原因分析、対策立案～	D	3	5	開催
18j	12月	12/15～ 12/17	IoTを用いた新システム提案 ～基礎技術、事例、アイデアソン、提案～	N	2	3	開催
19a	1月	1/12～1/14	ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント	D	6	8	開催
20s	2月	2/2～2/4	顧客の心をつかむITソリューション提案の実践	N	3	4	開催
21a	3月	3/2～3/4	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方	D	5	9	開催
22s	3月	3/23～3/25	Pythonによる機械学習入門	D	5	7	開催
合計						169	

※会場は、N：(Nisa 研修室)、D：(出島交流会館)、I (石井会計事務所) を表す。

Ⅲ・2 JISA 補助金による研修(「講演セミナー事業」)

JISA からの補助金「地域高度化事業(研修)」で下記を実施した。

(1)IoT 実践講座「マイコンボードを用いた人工知能入門講座」

日 時：R04-3-10(木)・11(金)

会 場：出島交流会館

講 師：NPO 法人九州組込みソフトウェアコンソーシアム 甘田 哲久氏

受講申込数：6名【会員4名、会員外2名(Works(1)、日本電気協会九州支部(1))】

Ⅲ・3 新入社員向けIT技術者研修を実施(「受託事業」)(敬称略)

(株)エンバックスエデュケーションとタイアップし、厚労省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して2021(R03)年度の新入社員研修を長崎で実施した。助成金制度の活用により、本研修の費用負担を軽減でき、IT技術、ヒューマンスキル、社会人マナーの習得により人材育成を図った。

項目	内容
講座	C#.NET エンジニア養成コース
期間	2021/4/6(火)～6/3(木)(38日間)

会場	ポナールビル(4階 404-1号室)
講師	(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 飯室 明夫氏
受講者	6社 15名(内3名はWEB参加)

Ⅲ・4 iCD(アイ コンピテンシ デクショナリ):(中小企業向け IT スキル標準)

「i コンピテンシ デクショナリ」(以下、iCD)は、企業において IT を利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支える IT 人材の能力や素養(スキル)を「タスクデクショナリ」、「スキルデクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成の PDCA サイクルを回す活動の一助となることが期待される。H26、H27 年に「iCD ワークショップ」を長崎で開催し、会員 6 社「オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研 工業(株)、(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)」が参加した。その後の活動を通して「iCD 活用企業認定」では、企業での iCD の活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルの Silver Plus 3 社、Silver 3 社となった。

なお、推進母体 IPA から新たに設立された「(一社)iCD 協会(iCDA)」が普及・ワークショップ活動を実施した。

(1)活動を推進する為の情報交換会

令和 3 年度は、新型コロナ対策の為、オンライン(ZOOM)で「iCD ユーザー会」等が開催された。

情報交換会	開催日時	開催場所
WEB 第 1 回 iCD ユーザー会	2021-6-10 15:30~17:30	オンライン開催
WEB 第 2 回 iCD ユーザー会	2021-7-9 15:30~17:30	オンライン開催
WEB 第 3 回 iCD ユーザー会(特別版)※	2021-10-13 13:30~17:00	オンライン開催
WEB 第 4 回 iCD ユーザー会	2021-11-11 15:30~17:30	オンライン開催
WEB 第 5 回 iCD ユーザー会	2021-12-14 15:30~17:30	オンライン開催
WEB 第 6 回 iCD ユーザー会	2022-2-10 15:30~17:30	オンライン開催
WEB 第 7 回 iCD ユーザー会	2022-3-11 15:30~17:30	オンライン開催

※第 3 回はデジタルの日にちなみ特別講演を実施

Ⅳ 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16 年度からキャリア形成促進事業を始め、H23 年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、また H25 年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度は H25 年度に終了した。H26 年度から 28 年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29 年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。H31 年度は改訂版を引続き適用し実施した。NISA 研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、令和 3 年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

事務費:「人材開発支援助成金:10%、ただし、認定実習併用職業訓練:1%」として実施。

※人材開発支援助成金

IT 分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業 の将来を左右すると言われており、人材こそが IT 業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおられることに敬意を表するとともに、NISA 事務局は助成金申請の支援を継続して行っている。なお、人材開発支援助成金は、特定訓練コース(35 歳未満で入社 5 年以内の者に対する、若年者訓練・認定実習併用訓練等)と一般訓練コース(特定コース以外)に分かれ、それぞれの助成額・率が異なる。

また、生産性向上に係る要件として「特定訓練コース」&「一般訓練コース」共、訓練開始日の会計年度の前年度と比べ 3 年後に生産性が 6%の伸びを満たした場合、訓練開始日が属する会計年度の前年度から 3 年後の会計年度の末日の翌日から起算して 5 か月以内に割り増し助成分のみ別途申請する必要がある。

(1)人材開発支援助成金(厚生労働省)

①計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では訓練実施計画届様式に NISA 研修内容搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

②訓練実施計画届書のチェック支援(R03-4~)

- i) 人材開発支援助成金は、初回訓練計画届は研修・訓練開始の1カ月前まで、以降新規の研修受講の際は、訓練開始1カ月前までに、また訓練計画内容の変更(人数・受講者等)は訓練開始の前日までに「変更届」の提出が必要である。
- ii) 長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。
- iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。
- iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。
このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、人材開発支援助成金に係る研修実施場所に関する委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と申請漏れの防止を図っている。
- v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。

③支給申請書のチェック支援(事務費:確定支給額の10%、認定実習併用職業訓練は1%)

- i) 支給申請は「各訓練終了日の翌日から2か月以内」に申請書の提出が必須。
- ii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から2か月以内」に実施した。支給申請時の共同チェックは、研修が終了次第順次実施した。

(2)留意点のメールによる配信と対面・電話相談

V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびAI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組の情報をいち早く収集して広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報をHP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域のICT化の取組みや施策の提案等を行う。

(NISAのホームページを地域におけるICT関連ポータルサイト化とすべく推進)

(1)提供項目:2021年度掲載分(2021年4月1日~2022年3月31日)合計646件

① 会員専用情報(会員・役員).....	112件
② 加入団体(ANIA・JISA)情報.....	146件
③ 政府(総務省、経産省、厚労省)情報.....	256件
④ 自治体(長崎県、長崎市、他)情報.....	70件
⑤ 関連団体(中央会・工業連合会・他)情報.....	17件
⑥ 教育機関(大学・高専・高校・他)情報.....	3件
⑦ 研修、講座、セミナー情報.....	43件
⑧ その他情報.....	4件

情報源として、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省・九州総合通信局、経済産業省・九州経済産業局、厚生労働省、長崎県・市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、等からの情報をNISAホームページ「お知らせ欄」に掲示すると共に重要な情報は会員宛てにメール配信し周知を図った。(詳細はNISAホームページ参照)

VI 講演・セミナー事業

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有し、その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

(1)事業

- ①開催回数：2～4回／年
- ②案内方法：県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- ③対象：会員および非会員（行政職員、大学職員、および各種団体職員）
- ④参加人数：40～80名（WEB参加を含む）

(2)実施内容(抜粋)

①総会特別講演会 R03-6-17(木) 16:30～17:30 Hセントヒル長崎 2階「妙見」

i)演題：「AI・ICTの活用で今すぐに取り組めるDX」

ii)講師：木村情報技術(株) 代表取締役 木村 隆夫様

iii)概要：「この数年では世界的に人工知能第三次ブームと言われていて、日本でも日々多くの人工知能に関する話題がメディアを賑わせています。しかし、簡単なものでは温度設定によるスイッチのON/OFFや掃除機のルンバなど、そして、スマホのSiri、OkGoogleなどの音声質問のやり取り、車の自動運転、顧客対応コンシェルジュなど多くのツールが人工知能であると謳っています。そのような中、あたかも人工知能は魔法の杖のように思われ、導入さえしてしまえば何にでも対応してくれるような間違ったイメージも先行してしまい、人工知能に対する過度な期待も高まっているようにも思えます。

木村情報技術株式会社はIBM Watson日本語版を日本で一番最初に扱うパートナーの権利を得てこの一年半の間、IBM Watsonを多くのビジネスの場や医療業界での活用を具現化する研究開発を進めて参りました。今回の発表では、その事例をもとにして、どのように人工知能を活用していけるのかをわかりやすくお話しできればと思います。」

iv)聴講者：約123名（会場参加42名、WEB参加、約81名、非会員、オンライン参加を含む）

②デジタルの日記念講演会……R03-10-11(月) 15:00～17:00 Hセントヒル長崎 2F「妙見」

i)演題：「デジタル時代に向き合う～ニューノーマル時代のDXと政策展開」

ii)講師：経済産業省 中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課長 田辺 雄史氏

iii)概要：企業のDXに対する取り組み状況を示し、国としてのDXの普及と深度化の取り組みを紹介。

企業は既存ビジネスの効率化に注力しているが、今後はビジネスの創造と革新が求められる。DXが進まない理由として①デジタル技術に関する知識不足と無理解、②社内IT部門と他部門の対話不足（相互理解の不足）があげられる。DX推進指標を示してベンチマークによりDX推進レベルを可視化し、DX認定制度、税の優遇制度、低利融資制度によりDXの取組みをサポートして普及を図る。また課題解決型AI人材を育成するために人材育成プラットフォームや教育機関での教育プログラム整備の取組みを後押ししている。

iv)聴講者：106名（会場参加20名、Web参加86名、非会員、オンライン参加を含む）

③新春特別講演会 R04-1-19(水) 16:00～17:30 Hセントヒル長崎 3階「紫陽花」

i)演題：「新規事業創出、AI・ロボティクスを活用した様々な業界のイノベーション」

ii)講師：株式会社ZMP 代表取締役 谷口 恒様

iii)概要：AI・ロボティクスを活用した様々な業界のイノベーションについて、工場や倉庫、病院やホテル、マンションと建物から、私たちが住む街までDXによって変化する機会に満ち溢れていますが、その中から私が実際に携わっているリアルな事例や現場から得たビジョン、構想などを皆様にご紹介させていただきます。

iv)聴講者：約64名（会場参加15名、WEB参加、約49名、非会員、オンライン参加を含む）

④中小企業のためのサイバーセキュリティセミナー R03-7-26(月) 15:00～17:00 NISA 研修室(Web開催)

i)演題1：「最近のサイバーセキュリティ政策」

講師：経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 企画官 佐藤 秀紀氏

ii)演題2：「サイバーセキュリティ・リスクへの対処」

講師：東京海上日動火災保険株式会社 企業商品業務部九州グループ 前田 遥氏

iii)演題 3:「国の経済安全保障/機微技術管理」

講師 :長崎県 企画部/産業労働部 政策監 三上 建治氏

iv)参加者:約 68 名(会場参加 4 名、WEB オンライン参加 64 名)※YouTube で公開約 40 名視聴

Ⅶ 理事会(役員会)「主な項目のみ下記に記す(敬称略)

(1) 第 1 回 理事会(役員会) 2021-4-15(木) 15:30~17:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)

議事録担当 村井理事

・出席理事・監事:理事 18 名(会場 7 名, Web_11 名)、監事 2 名(会場 0 名, Web_2 名)

【議事】

- 1) 2021 年度通常総会の講演テーマの検討
- 2) 2021 年度通常総会「わが社の一押し」講演、発表企業の検討
- 3) 2021 年度 通常総会・講演会・産学官交流会 ご来賓招待者を審議
- 4) 2020 年度決算予想と対策(収益事業)の報告
- 5) 「株出島リサーチ&コンサルツ」、及び「株長崎再興」の正会員としての入会承認
- 6) NISA 委員会「令和 2 年度活動報告」と「令和 3 年度方針と計画」の提出依頼

(2) 第 2 回 理事会(役員会) 2021-5-20(木) 15:30~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)

議事録担当 峰松理事

・出席理事・監事:理事 17 名(会場 2 名, Web_15 名)、監事 2 名(会場 0 名, Web_2 名)

【議事】

- 1) 2021 年度 通常総会の講演テーマ・講師(発表者)について承認
- 2) 2021 年度 通常総会「わが社の一押し」講演の講師と演題を承認
- 3) 2021 年度 通常総会後の「講演会」ご来賓への案内書送付を承認
- 4) 2020 年度決算報告を承認
- 5) NISA 委員会「令和 2 年度活動報告」と「令和 3 年度事業方針と計画」を承認
- 6) 2021 年度 特別事業(②当年度会費免除, ①新聞広告)について審議
臨時理事会を開催して再審議することとした

(3) 臨時理事会(役員会) 2021-6-3(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)

議事録担当 須藤理事

・出席理事・監事:理事 19 名(会場 2 名, Web_17 名)、監事 1 名(Web_1 名、委任状 1 名)

【議事】

1) 2021 年度 特別事業①②について審議し、承認された

・特別事業①: 入会金と会費の免除

H29 年度第 10 回理事会において、従業員 5 名以下の新規起業会社および小規模企業にとって会費(6 万/年)は厳しいとの提議があり、年会費を初年度半額とする新入会員増強キャンペーンを実施した。その後、入会金を無料とする施策を追加した。更に 2021 年度に限り年会費を無料とした。

i. 新入会員数: 8 社(正会員: 7 社, 特別賛助会員: 1 社)

ii. 退会会員数: 2 社

現在の会員数: 82 社(正会員: 76 社, 特別賛助会員: 6 社)

・特別事業②: 新聞広告

全会員の知名度を向上し、かつ地域の情報系企業の団体としての評価を高める施策として特別事業を実施した。

i. 目的: NISA 及び会員企業(2021 年 8 月時点の 77 社)の PR

NISA の会員拡大・研修参加者の増員、会員企業の営業・採用活動助成

ii. 内容: 見開き 2 ページカラー広告を掲載

iii. 費用: 掲載料+製作費で 391 万円(税込)、

iv. 掲載日: 令和 3 年 8 月 14 日

- (4) 第3回 理事会(役員会) 2021-6-17(木) 13:10~13:50 H セントヒル長崎2F「妙見」(WEB 併用)
議事録担当: 荒木(泰)理事
・出席理事・監事: 理事 17 名(会場4名, Web_13 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web_1 名)
【議事】
1) 2021 年度_第 28 回通常総会・特別講演の講師を(株)木村情報技術 木村隆夫氏とすることを確認
2)「わが社の一押し」の講師とテーマを確認
3) (株)シーエーシーの書面決議による入会承認を報告
- (5) 第4回 理事会(役員会) 2021-7-15(木) 16:00~17:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)
議事録担当: 城戸理事
・出席理事・監事: 理事 17 名(会場 5 名, Web_12 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web_1 名)
【議事】
1) 2021 年度 JISA 地域高度化事業に係る JISA 補助金申請を承認
①地域高度化事業: 講演会・セミナー……2022 年 1 月 20 日に開催予定の「新春講演会」で計画
②地域高度化事業: 研修……2022 年 3 月 10 日(木)・11 日(金)を計画
2) 長崎県 男女参画・女性活躍推進室からの要請に対応したコミットメントの実施を承認
- (6) 第5回 理事会(役員会) 2021-8-19(木) 16:10~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
議事録担当 荒木(久)理事
・出席理事・監事: 理事 19 名(会場 3 名, Web_16 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web_1 名)
【議事】
1) 2021 年度 JISA 地域高度化事業の JISA-NISA 共催研修テーマにつき「マイコンボード」(RaspberryPi)を用いた人工知能入門講座」とすることを承認
2)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の開催日を 1 月 19 日(水)とすることを承認。
- (7) 第6回 理事会(役員会) 2021-9-16(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
議事録担当 石橋理事
・出席理事・監事: 理事 17 名(会場 3 名, Web_14 名)、監事 2 名(会場 0 名, Web_2 名)
【議事】
1) 2021 年 10 月 11 日「デジタルの日」の NISA 主催の記念講演(基調講演)開催を承認
2)「長崎県との意見交換会」の開催を承認。期日は今後県と調整
3) 長崎工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)を第 9 回理事会後に行うことを承認
4)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の講師と演題を提案要請
5)「(株)キヤドワークス」と「(株)水上洋行 長崎営業所」の新規入会を承認
- (8) 第7回 理事会(役員会) 2021-10-21(木) 16:00~17:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)
議事録担当 徳永理事
・出席理事・監事: 理事 18 名(会場 8 名, Web_10 名)、監事 1 名(Web_1 名)
【議事】
1)「長崎県との意見交換会」の開催日を 11 月 9 日で承認、「次第, テーマ, 発表者」は調整
2) 長崎工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)の「次第」、「テーマ」を次回理事会までにまとめる
3)「fj.misc」の新規入会を承認
4)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の講師と演題を引き続き募集する
- (9) 第8回 理事会(役員会) 2021-11-18(木) 16:00~17:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)
議事録担当 岩永(龍)理事
・出席理事・監事: 理事 17 名(会場 2 名, Web_15 名)、監事 1 名(Web_1 名)
【議事】
1) 長崎工業技術センターとの意見交換会(研究キャラバン)の開催時刻を変更

- 2)「ナガサキ ICT パワー向上プロジェクト(仮称)」の委員会設立を承認
- 3)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の特別講演・講師を(株)ZMPとすることを承認
「わが社の一押し」の1件目講師をシステムファイブ(株)とすることを承認

- (10) 臨時理事会(役員会) 2021-12-6(木) 13:30~14:30 NISA 研修室(WEB 併用)
議事録担当 須藤理事
- ・出席理事・監事:理事 18 名(会場 2 名, Web_16 名)、監事 2 名(Web_2 名)
 - 【議事】
 - 1)「長崎県中小企業デジタル活用支援事業(仮称)の素案」に関する事業の受託を承認
- (11) 第 9 回 理事会(役員会) 2021-12-23(木) 15:00~16:00 出島交流会館 9F(WEB 併用)
議事録担当 松尾(隆)理事
- ・出席理事・監事:理事 19 名(会場 8 名, Web_11 名)、監事 1 名(Web_1 名)
 - 【議事】
 - 1)「長崎工業技術センター」との意見交換会(研究キャラバン)の開催について
 - 2)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の「わが社の一押し」の 2 件目講師をシステムファイブ(株)とすることを承認
- (12) 第 10 理事会(役員会) 2022-1-19(水) 14:00~14:30 Hセントヒル長崎 2F「妙見」(WEB 併用)
議事録担当 坂本理事
- ・出席理事・監事:理事 17 名(会場 5 名, Web_12 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web_1 名)
 - 【議事】
 - 1)2022 年度 NISA 研修の開催講座(22 講座)について承認
 - 2)「2022 年新春講演会・産学官交流会」講師と演題の確認
 - 3)「2022 年新春講演会・産学官交流会」の行事体制等について確認
- (13) 第 11 回 理事会(役員会) 2022-2-17(木) 15:30~17:30 NISA 研修室(WEB 併用)
議事録担当 渡邊理事
- ・出席理事・監事:理事 17 名(会場 5 名, Web_12 名)、監事 2 名(会場 1 名, Web_1 名)
 - 【議事】
 - 1)2022(令和 4)年度 理事会(役員会)の開催日程計画を承認
 - 2)「DX 推進プロジェクト講演会」の後援名義使用を承認
- (14) 第 12 回 役員会 2022-3-17(木) 16:00~17:00 NISA 研修室(WEB 併用)
議事録担当 岩永(健)理事
- ・出席理事・監事:理事 19 名(会場 3 名, Web_16 名)、監事 2 名(Web_2 名)
 - 【議事】
 - 1)2022 年度(令和 4 年度)通常総会の日程・講演会テーマの検討(4 月理事会で決定予定)
 - 2)「特別講演」「わが社の一押し」発表企業の募集
 - 3) 令和 4 年度 NISA 役員(理事・監事・顧問)改選の公募について(任期満了に伴う役員改選)